# あゆみだより

令和８年度第20号
令和８年11月４日発行
沼津市立沼津高等学校・中等部

気象庁が富士山の初冠雪を10月30日に発表しました。富士山の初冠雪は、1894年の統計開始以来、甲府地方気象台により「目視」で観測されてきましたが、今季から、アメダスや雨雲レーダー、衛星画像をもとに山頂付近の積雪をデータで解析し、自動で判定する方法に変更されました。方法が変わったので単純比較できませんが、昨年より７日遅い発表となりました。秋の深まりを感じますね。

## 【中等部】“高校”を肌で感じるイベント

### ランチミーティング

市沼のよいところとして、進路の幅が広いことと、先生が多いことを挙げてくれました。文化祭では中等部とも楽しめるからいいよねって言ってくれてうれしかったです。一番おもしろかったのが、バドミントン部があると思っていたらバトン部だったって言ってたことです。高校生と関われてよかったなと思いました。

市沼の高校生活の見通しがもてました。コースや校則の話をして、知らなかったことをたくさん聞けて、よい機会になりました。普段同じ校舎で暮らす中でも、分からないことをたくさん知れて、貴重な経験になりました。





質問したことに対して丁寧に教えてくれたのでとても分かりやすかったです。麻辣湯の話も聞けて楽しかったし、高校生の方から話を振ってもらったときはめっちゃ嬉しかったです。

赤点を取ってしまったらも大切な夏休み、冬休みがつぶれて勉強をしないといけないと聞いたので、僕は日頃の勉強を頑張ろうと思いました。

私も後輩に優しくできる先輩になりたいです。ぜんぜんかたい感じじゃなくてよかったです。また話せる機会があったら聞きたいと思います。せっかく中高一貫校なので高校の人ともかかわりをもっと持てたらいいなと思いました。

アンケートでは、「また参加したい」と回答した生徒は**89.0%**でした。また、「市立沼津高校に魅力を感じた」とする肯定的回答は**96.7%**に達しました。感想から、特に次の４点が大きな成果として見えてきます。

**①高校生活への理解が深まった**

「高校生活の様子がわかった」「授業の進み方がわかった」「高校生の日常を知ることができた」「選択教科について知れた」「校則や部活動について聞けた」など、高校進学後のイメージ形成につながっています。

**②高校生の『生の声』が聞けた**

「実際に高校生から聞けてよかった」「普段は聞けないことを聞けた」「市沼の高校生だからこその話が聞けた」「高校生の視点から学べた」という記述が非常に多く、パンフレットや説明会では得られない情報価値を生徒が感じているようです。

**③高校生との交流自体に価値があった**

「高校生が優しかった」「フレンドリーで話しやすかった」「先輩と関われて楽しかった」「また話したい」「私もそんな先輩になりたい」など、高校生の人柄そのものが学校の魅力として伝わっていることが読み取れます。

**④学習や進路への意欲向上につながった**

印象的だったのは、「今のうちに勉強しておこうと思った」「高校でも頑張りたい」「勉強時間を聞いて刺激になった」「見通しが持てた」「不安が軽くなった」といった記述です。単なる交流イベントではなく、中学生の学習意欲や進路意識を高める機会になっています。

### 高校授業参観

高校生の方が授業の質が高くて、進むのがはやい。だけど、みんな話し合うと言われた時には今やっていることをすぐにやめ、真剣に話していました。そこが私たちと高校生の違いだと思いました。高校生の方がみんなで学んでいる感じがあり、学びが深まりそう。

日本史では高校生がiPadを上手に活用しながらグループワークを行っていました。先生が黒板に授業内容を書かないことに驚きました。書道では臨書を行っていました。王羲之の蘭亭序の「清風」を書いていました。作品には自分で作ったハンコを押していました。

一貫生からの外進生からもＹコースについて教えていただきました。200人の中で〇〇位以内に入っていないといけないと知りました。そして英検は取っておいた方がよいと教えていただきました。高校生からいろんなお話を聞いて、勉強は大切で今から本気で頑張らなくてはいけないと思いました。





美術ではAIを使い、どんな案がいいかを考えている人がいた。一つの教科で一つの力を育てるのではなく、文章力などといった様々な力も一緒に育てている印象だった。先生の体験談や、考えなども生かし、一緒に考えていた。

休み時間との切り替えがすごくて、そしてなんといっても授業内容が全く違っていて、論理国語では説明文を中心に100字要約、音楽では和音のコードを覚えたり作曲をしたりしていた。どちらの授業も、iPadなどのデジタルを中心にやっていることを知ってびっくりした。

メリハリの良さを感じました。最初の前半は古典探究に行ったのですが、となりの人と話してくださいと言われてから話していたり、中等部の自分たちには足りないものがありました。

２分前にはみんな座っていた。中学校で学んだこと（累乗や平均）の応用が多いことにおどろいた。復習も大切だと思った。

全員集中していた。授業の内容は難しかったけど、先生たちはわかりやすく説明していて、聞いていたこっちも授業受けている感じになって、理解することができた。

# 【中・高】どう生かすかは自分次第－10月28日学習活動日－

探究学習の充実のために、生徒が自身の計画に基づいて積極的にフィールドワーク等に出掛け、学びを深める一日です。学年ごとに設定した枠組みが異なりましたが、それぞれどのような使い方をしたでしょうか。

## 中

企業によるリアルな課題解決のプロセスを疑似体験することで、これから探究活動を進めるにあたり、探究とはどのような活動なのかを理解しました。



探究体験



**【分野】アパレル、ダンス、看護、観光、金融、工業、情報、農業流通、美容、不動産、福祉、料理**

## 探究スタートアップ体験会








## 高1

地元企業に御協力いただきながら、現在こんなことやっています。以下、問いの例です。

地域探究（チーム）

Q.AIと共存していくためには？
Q.若者のUターンや地元で働く人を増やすためには？
Q.お客さんに実店舗へ足を運んでもらうためには？
Q.人手不足を解消するにはどうすればよいのか？
Q.なぜ介護の仕事は人が少ないのか？
Q.若い世代にさまざまな職業を知ってもらうためには？
Q.自動車業界の職業の知名度を上げるにはどうしたらいいのか？
Q.チェーン店で作れないものを作るにはどうしたらいいだろうか。
Q.特定の人がいないと仕事が回らない環境をどうするか？
Q.保険は我々に必要なのだろうか。

## 希望者

放射線について「そもそも放射線って何？」「どんなところで活用されているの？」といったことを、高校１年生でも分かる内容で、実験を交えながら楽しく学びました。講師：静岡大学理学部特任教授　矢永誠人氏



## 放射線講座





## 高3

これからの社会や将来の生き方について、講師自身の経験等を踏まえた講演を聴きました。
講師：三条市立大学学長アハメド シャハリアル氏

キャリア講演会



## キャリア講演会

振り返り発表

講演を踏まえ、自身のこれまでの歩みとこれからについて振り返りました。その後、クラス内で発表・共有を行い、他者の考えや価値観に触れながら、自身の考えを深め、これからの計画を立てました。

午後は各自

個人で立てた計画に基づき、活動しました。

## 高2

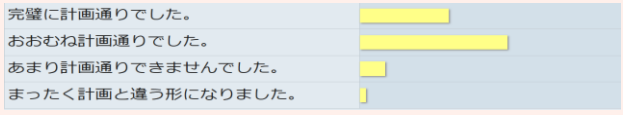
４つの目的をもった活動（①個人探究活動②グローカル探究活動③地域継続探究活動④キャリア形成活動）を自分で選択して活動しました。クラスごとの成果報告会で、クラス優秀者を選出しました。

終日各自

| | |
|---|---|
| 21 | 静岡県立美術館にて、河鍋暁斎・ロダンの作品鑑賞、額縁吟味 |
| 22 | 静岡県国際経済振興会本部にて、国際経済活動に関するインタビュー |
| 23 | アクアガーデン迎賓館沼津とみしまプラザホテルザ・モーリスの結婚式場見学ならびにブライダルに関するインタビュー |
| 24 | 順天堂大学にて、本校主催の看護医療講座に参加。「術後の患者さんのケア」演習実施 |
| 25 | 「弥生時代ー江戸時代の人と、今の私たちを同じ新人として区分するのは正しいのか」という問いリサーチのため、登呂遺跡博物館、駿府城公園、静岡市歴史博物館を見学。 |
| 26 | 株式会社良品計画(無印良品)本社へ訪問。広報担当と開発担当の方へインタビュー。無印良品のヘルメットについて話を聞き、ヘルメット着用啓発のための「校内試着会」の協力をとりつける。 |

## アンケートをとりました

**Q　活動計画通りに実施できましたか。**




**Q　満足度はどうでしたか。**




また近日設けて欲しいです。有意義な時間を過ごせました。／もっとやりたい!／もっと必要。／学習活動日を通して、探究活動がとても捗った。チームメイトでそれぞれ仕事を割り振ることでとても捗った。／10回くらい欲しい。／個人探究、グローカル探究、進路など学習活動日の中でもこの日はこれに視野を置いた活動など、複数日数を儲けて欲しい。／たくさんあればいいと思います!!

このほか、希望者向けに**看護医療講座**も開催しました。